

基本情報

科目名	教育実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0430901501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、古城 玲子、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、國木 孝治、日比 眞一	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学における教職課程で学んだ理論をもとに、学校現場における教育の実践的経験を通して、高校教諭に必要な資質や専門性、実践的指導力をもつことができる。実習をとおして、「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力の必要性を確認する。
履修上の注意事項	高校教諭1種免許状の取得希望者のみ。履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるので、よく確認すること。 事前準備、事後の復習については担当者の指示に従うこと。事前事後学修に要する時間は各2コマである。授業ではアクティブラーニングを活用し展開する。
評価方法	実習校による評価（60%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（授業態度等）（10%）、事前事後指導におけるレポート等による評価（20%）。 なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	特に使用しない。資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は公立学校での養護教諭経験（古賀）、保健体育の教員経験（國木）、教員・養護教諭の実務経験（柴田）、あるいは病院勤務経験者（吉岡、古江、古城）である。

授業計画

授業計画	
1. 事前指導（3年次～4年次実習前）	教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導
2. 教育実習（4年次、2週間）	実習校の指導のもとで実習を行う
3. 事後指導（4年次、実習後）	実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 * なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教育実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0430901601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、古城 玲子、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、國木 孝治、日比 眞一	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学における教職課程で学んだ理論をもとに、学校現場における教育の実践的経験を通して、高校教諭に必要な資質や専門性、実践的指導力をもつことができる。実習をとおして、「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力の必要性を確認する。
履修上の注意事項	高校教諭1種免許状の取得希望者のみ。履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるので、よく確認すること。 事前準備、事後の復習については担当者の指示に従うこと。事前事後学修に要する時間は各2コマである。授業ではアクティブラーニングを活用し展開する。
評価方法	実習校による評価（60%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（授業態度等）（10%）、事前事後指導におけるレポート等による評価（20%）。 なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	特に使用しない。資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は公立学校での養護教諭経験（古賀）、保健体育の教員経験（國木）、教員・養護教諭の実務経験（柴田）、あるいは病院勤務経験者（吉岡、古江、古城）である。

授業計画

授業計画	
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 * なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習（中・高）
時間割コード	0430901401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2023年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、古城 玲子、水間 宗幸、吉岡 久美、國木 孝治、日比 眞一

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの履修内容を統合することで確かな実践的指導力を身につける。具体的には、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、幼児・児童・生徒理解や学級経営等に関する事項、教科・保育内容等の指導力に関する事項、に関する知識・技術を修得し、実践が行えるようになる。本科目を履修することで「こころ」豊かな人間性を培い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力の必要性を確認する。
履修上の注意事項	事前事後学習については担当者の指示に従うこと。事前・事後学習に要する時間は各2時間である。授業においてはこれまでの学習経験を活かしたグループワーク、討議、発表を行う（アクティブラーニング）。
評価方法	授業態度（30%）、ポートフォリオを通しての評価（50%）、外部講師による評価（20%）
テキスト	これまでに使用した教科書、資料を活用する。
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は公立学校での養護教諭経験（古賀）、保健体育の教員経験（國木）、教員あるいは養護教諭として学校での実務経験（柴田）、看護師は病院での実務経験（吉岡、古江、古城）がある。

授業計画

授業計画
I 教師に関する研究(教育実習自己評価用紙を基に自己省察を行う) 自己省察(教育実習自己評価用紙を基に)
II 学校教育におけるエコロジカルアプローチ(事例研究や対人援助技術を学び最新の子どもの発達に関する理解を深める) (1)事例研究(保護者地域社会との連携・協働について) (2)学校に関連した対人援助技術を学ぶ(保護者との関係性の構築の仕方等に関するロールプレイングを含む) (3)最近の知見に基づく子どもの発達に関する理解を深める。
III 授業研究(実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究を行う) (1)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その1) (2)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その2) (3)実習生による模擬授業の実施と現職教諭を交えての授業研究(その3)
IV 生徒指導(生徒指導の在り方及び不登校といじめ問題・ロールプレイングを含めた事例研究を行う) (1)生徒指導の在り方について(「生徒指導上の諸問題の現状について」)を基に (2)事例研究(不登校といじめ問題等) (3)事例研究(ロールプレイング含む)
V 児童・生徒理解(玉名市内のスクールボランティア協力校・学校支援・市内協力高校でのフィールド学習を実施する) (1)スクールボランティアを活用したフィールド学習 (2)スクールボランティアを活用したフィールド学習 (3)スクールボランティアを活用したフィールド学習 (4)フィールド学習の振り返りと評価
VI 総括
* 事前事後学修に要する時間は各2コマで、各自、計画的に学習すること。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			